

三菱総研DCS株式会社

(Mitsubishi Research Institute DCS Co.,Ltd.)

会社名

三菱総研DCS株式会社

ウェブサイト

<https://www.dcs.co.jp>

業界

コンサルティング業界

事業内容

- ソフトウェア開発とコンサルティング
- 各種事務計算等情報処理サービス
- アウトソーシングサービス
- 情報通信サービス・データサービス
- コンピュータシステムの販売
- コンピュータ要員の教育・研修業務
- 労働者派遣

お客様のニーズ

- 低遅延かつ安定性の高いネットワーク
- 品質とコストパフォーマンスのバランス
- 設計、構築の技術的サポート



三菱総研DCS株式会社

三菱総研DCS株式会社
常務執行役員 DX部門長
合田 敬氏

マルチクラウドストレージサービス『Dibertas』提供において最も重視している点は、複数のパブリッククラウド上のデータをストレスなく一括管理したいというユーザー様にご満足いただける高速かつ安定した環境を構築することでした。広帯域、低遅延のColtクラウド接続サービスの導入により、クラウドへのセキュアかつ高品質な閉域網接続を実現できたこと大変満足しています。今後もユーザー様のニーズに応えるべく、ColtにはDibertasの安定した提供および拡張をサポートいただければと思います。

ソリューション

三菱総研DCS株式会社は、Coltクラウド接続サービス導入により、マルチクラウドストレージサービス「Dibertas」の安定したサービス提供を実現

課題

三菱総研DCS株式会社は1970年に三菱銀行(現・三菱UFJ銀行)より分離独立後、銀行、クレジットカード等金融関連業務で培った豊富な実績を活かし、千葉情報センターを核としたアウトソーシングやBPO業務などITトータルソリューションを提供するコンサルティング事業者として業容を拡大してきた。2004年より三菱総合研究所グループの一員となり、「ICTを通じてお客様の成長を支援し、お客様とともに成長し続けること」をミッションとし、一貫したバリューチェーンの提供を通じてユーザーの企業価値向上の実現に取り組んでいる。

同社の提供する「Dibertas」は、各種パブリッククラウドおよびオンプレミスサービスで使用するデータの一元管理が可能なマルチクラウドストレージサービスだ。サービスごとに点在するデータを横断的に共有することで自由と安全性を兼ね備えたストレージ管理を実現する。同社はDibertasの提供にあたり、いくつかのクラウド接続ソリューションを比較、検討していた。「Dibertasは、同社データセンターにてデータストレージを管理、監視することによりセキュアにユーザーのデータを保護することをコンセプトとしており、自社環境とパブリッククラウドをセキュアかつ高品質に接続できるネットワークを探していました」と合田氏は語る。



Coltを選択した理由

クラウド接続用のネットワーク選定にあたり、同社は安全性と接続品質の観点から専用線の採用を決めた。「Dibertasはクラウドサーバーとデータストレージを物理的に異なる場所に設置しているため、信頼性と安全性の高い専用線を選定することは必須条件でした。複数のクラウド専用接続ソリューションを検討する中で、最初にボトルネックとなったのはコスト面でした」と東郷氏は振り返る。「Colt Ethernet Hubを起点として複数のパブリッククラウドに接続するポイント・ツー・マルチポイント構成により、パブリッククラウド毎に回線を敷設する構成と比較してコストを削減することができました。さらに、Coltのネットワークはリング構成を取っているため、キャリア冗長を取ることなく高い信頼性、安定性を担保できたことで、非常に高いコストメリットを実感しました」と東郷氏は満足感を示した。

また、Dibertasには多数のユーザーがアクセスするため、高速かつ安定したパフォーマンスでサービス提供するためにネットワーク帯域が保証されていることは必須だった。「複数のクラウドで利用するデータを柔軟かつ自由に一括管理する、というDibertasのメリットを最大活用いただくために、低遅延であることも重要なネットワーク選定基準でした。」



同部門 テクノロジー事業本部
データテクノロジー部
副部長 東郷 重成氏

Coltクラウド接続サービスは低遅延の閉域網によりパブリッククラウドとDCSデータセンターを直接接続するため、パブリッククラウドとDibertas間のレイテンシーを最小限に抑えることができました」と佐藤氏は語る。

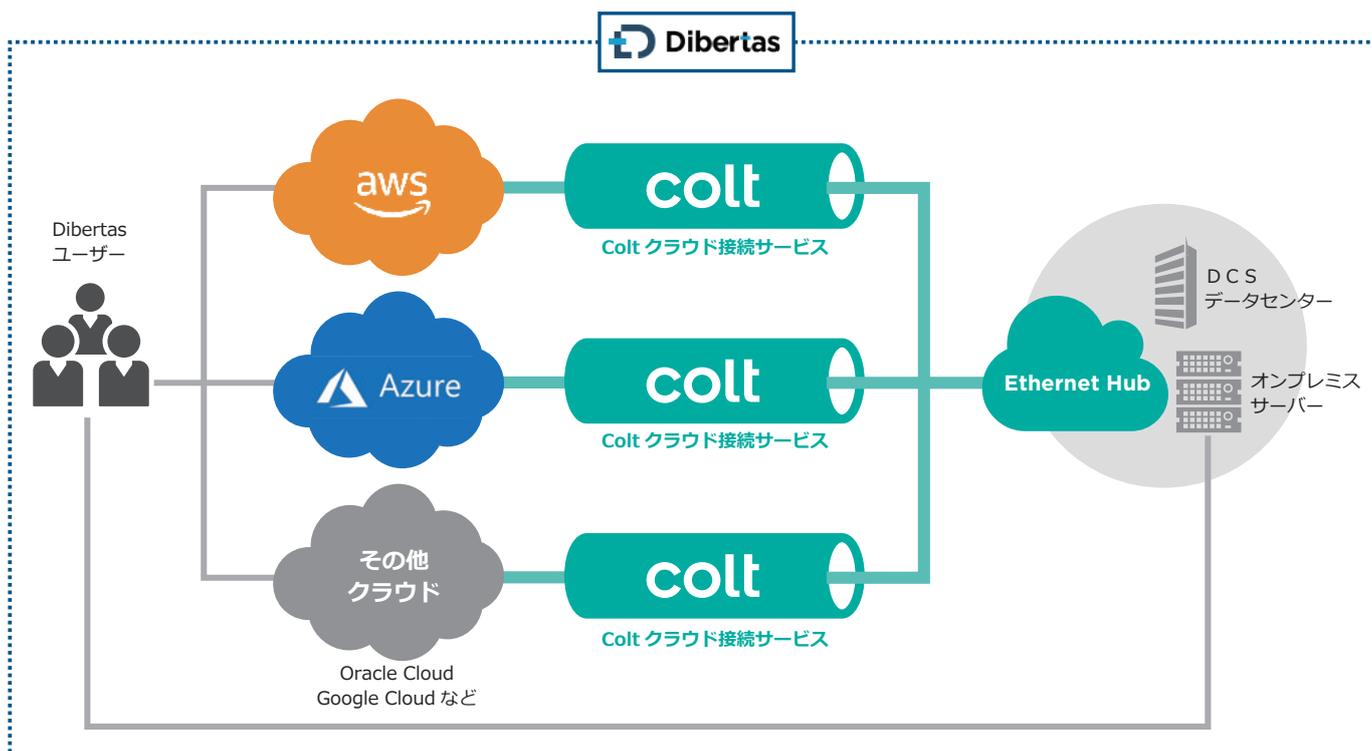
「Coltコンサルタンシーサービスにより、パブリッククラウド内のネットワーク設計・構築の支援がいただけたことで安心感もありました。品質の高さとコストパフォーマンスのバランスがColt採用の最大の決め手でした」と安藤氏は語った。



同部門 同本部 データテクノロジー部
統合データマネジメントグループ
課長 佐藤 寛之氏



同部門 同本部
データテクノロジー部長
安藤 稔氏



※Dibertasは三菱総研DCS株式会社の登録商標です。
※AWS(Amazon Web Services)は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
※Azureは、Microsoft Corporationの登録商標です。

■ 今後の展望

近年、クラウドはストレージとしての活用だけでなく、クラウドベースのビッグデータ・アナリティクスなどの需要がますます増えている、と合田氏は見解を語る。「利用用途によりマルチクラウドを使い分け、Dibertasで一元管理を希望されるケースも増えています。Dibertasはこうしたユーザー様のニーズに合わせてAWSとMicrosoft Azureに続き各種パブリッククラウドにも順次対応していく予定です」と安藤氏は今後の展望を述べた。

また、Dibertasは西日本でのサービス展開や東阪間でのサービス連携など、さらなる拡張も計画している。「Dibertasのユーザー数は今後

もさらに増え続けていくと確信しています。Coltには今後も高品質なネットワークサービスを提供いただき、Dibertasの安定した提供をサポートいただければと思います」と合田氏は語った。



■ Website www.colt.net/asia
■ Twitter [@Colt_Technology](https://twitter.com/Colt_Technology)
■ YouTube [Colt Technology Services - Asia](#)

For more information,
please contact us at:
www.colt.net/asia/contact

